

情報・システム研究機構国立極地研究所

令和4年度第2回南極昭和基地大型大気レーダー共同利用委員会 議事要旨

日 時 令和5年3月20日(月) 10:00~11:00

場 所 ウェブ会議システム(zoom)での開催

出席者 (委員) 野木義史、小川泰信、門倉昭、佐藤薫、坂野井和代、早坂忠裕、  
橋口浩之、堤雅基、富川喜弘、橋本大志  
(陪席) 市川雅一、小濱広美、昨間勲

議 事

(報告事項)

1. 前回議事録案確認

会議終了までに修正意見等なく、原案のとおり承認された。

2. 新委員の紹介

堤委員から、新委員として京都大学生存圏研究所橋口教授の紹介があり、橋口委員から挨拶があった。

3. 前回委員会開催(2022年12月12日)以降の作業報告

堤委員から、資料5・資料6に基づき、南極昭和基地大型大気レーダー共同利用募集に関する前回委員会開催以降の経緯について説明があった。

(審議事項)

4. 2023年度観測時間割り当て申請の審査

早坂委員から、今回募集の申請者に審査委員が含まれることから審議に先立ち審査方法について何らかの合意が必要と思われる旨発言があった。

佐藤委員長から、大型大気レーダーの申請を審査可能な者は限られるため、委員が申請に関係している場合は当該課題の審査に関してはコメントしないこととし、他の委員により厳しく審査する旨提案があり、承認された。

堤委員から、資料7に基づき今回募集の申請状況について説明があり、続いて申請概要について資料8に基づき各課題に関係する委員から説明があった。さらに、資料9に基づき審査委員(各課題5名)による評価取りまとめ状況について、また資料10に基づき各課題に対する審査コメント・申請者に開示するコメントについて説明があった。これら申請内容や審査の内容について、種々の議論がなされた。

5. 共同利用観測時間割り当て

堤委員から、資料11に基づき観測時間割り当て案について説明があり、割り当て時

間について種々の議論がなされた。

審議の結果、観測時間割当案は資料 1 1 に本日の議論の結果を反映させることで承認された。

#### 6. 今後の審査法などの改善に向けて

堤委員から、今回の審査の過程で寄せられたコメントとその対応策について、資料 1 2 に基づいて説明があった。

委員からの質疑応答やコメントは以下のとおり。→部分は、PANSY 支援グループからの回答。

- ・観測時間の配分について、今後応募が増えてきた場合に配分時間が減ったとしても成果が見込めるかを審査員に尋ねる必要が生じるのではないか。  
→指摘のとおり評価表を改善したい。
- ・配分時間が減った場合に計画を変更するか、申請者にも聞く必要があるのではないか。  
→すべての希望が認められなかった場合に十分な成果を上げられるか、申請書に記載するように修正したい。

#### 7. その他

これまでの議論の他に検討すべき点として、委員から下記のコメントがあった。→部分は、PANSY 支援グループからの回答。

- ・募集案内について、先端的レーダー研究推進センターの HP には記載があるが、PANSY の HP には記載がなかったようなので、検討いただきたい。  
→改善を図りたい。

以上